



よつば小 だより

令和4年10月28日 第14号
守口市立よつば小学校
06-6901-5425
発行責任者 校長 濱口 和久



すくすくウォッチの結果について 《その2》

前回に引き続き、大阪府学力調査「すくすくウォッチ」のわくわく問題（教科横断型問題）及びアンケート結果についてお知らせいたします。

わくわく問題（5・6年共通）

（1）比較的できていたもの

身近な「大阪湾」を題材とし、基礎的な読み取りの力を問うとともに、読み取った内容に基づいて思考し、自分の意見を持つ態度を育てることを目的とした問題

- ① 壁新聞「豊かな海 大阪湾」の記事に入る資料を4つのうちから選ぶ問題
- ② 海のごみ問題について書かれたリーフレットを読んで、記事を書く問題

（2）課題となるもの

先進技術の中でも身近なものになりつつある自動運転車を取り上げ、論理的思考力を問うとともに、複数の資料を関連させながら読み取る中で、技術と生活との関係に対する知識や関心を持つことを目的とした問題。

- ①資料を見てわかることを選ぶ。

下の「自動で動く車」が日本で作られている台数を示した表をもとに、分かることとして正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選びましょう。

自動で 動く車		2015年	2019年	2025年 (予想)	2030年 (予想)
	運転を支援する車	265万台	535万台	886万台	756万台
自動運転車	0台	0台	4万台	83万台	

- ア 「自動で動く車」は、2015年には生産されていない。
- イ 「自動で動く車」の生産台数は、2019年と比べると2030年は、304万台増えることが予想される。
- ウ 「運転を支援する車」の生産台数は、2015年と比べると2030年は3倍以上増えると予想されている。
- エ 2025年と2030年の予想生産台数を比べると、「運転を支援する車」は増えるが、「自動運転車」は減る。

答え イ

②複数の表やグラフから、「『自動で動く車』が増えていくと、交通事故の数が更に減少するかもしれない。」と考えた訳を、資料を基に書く。

（3）今後の取組みで重要なこと

- ① 文章やそれに関連する資料などを活用し、複合的・多面的に考え理解し、それを自分の言葉で文章にすること。
- ② 表やグラフが何を表しているかを理解すること。

アンケート結果 (抜粋)

	項目	肯定的回答率
1	「自分にはよいところがある」と思う	70.8
2	頑張りやである	55.5
3	何事にも一生けんめい努力する	63.2
4	悲しんでいる人を見ると、なぐさめたくなる	74.2
5	人が頑張っているのを見たり聞いたりすると、友だちでなくても応援したくなる	81.9
6	まわりに困っている人がいると、その人の問題が早く解決するといいなあと思う	80.7
7	自分と違う考え方の人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかをわかろうとする	53.2
8	人と対立しても、相手の考えや気持ちを理解しようと努力する	61.4
9	自分の気持ちだけでなく、場面を考えて行動している	57.3
10	休み時間と授業時間との気持ちの切りかえができる	63.1
11	イライラを感じるときは、考え方を改めて落ち着いていられるようにする	47.4
12	新しいことに挑戦することは好きだ	69.5
13	誰もやったことのない物事にとっても興味がある	57.9
14	先生は、あなたが間違っただけを叱ってくれる	89.5
15	あなたは、困ったときに相談できる友だちがいる	86.6
16	あなたの学級は、友だちのよいところを互いに認め合える	76.6
17	あなたの学級は、協力的である	73.1
18	あなたの学級は、友だちが困っているときには助け合う	84.2
19	学級会では、自分たちで意見を出し合って、ものごとを決めている	67.2
20	その時間のめあてを意識して学習している	77.2
21	その時間に学んだことについて、ふり返りをしている	69.0
22	文章を読むとき、どこが大事なところか考えながら読んでいる	62.0
23	自分の考えをノート等にも書いている	76.6
24	先生や友だちが話していることで、大事だと思ったことをノート等にも書いている	56.2
25	自分の考えを積極的に発言している	53.3
26	話し合いをするとき、友だちの意見を最後まで聞いている	84.2
27	授業で学んだことを、ふだんの生活にいかすようにしている	57.9
28	自分は何が得意で何が苦手かをわかっている	86.6
29	課題や問題に取り組んでいる途中で、うまくいかなかったときは、やり方を変えている	56.7
30	家の人と、その日の出来事について話をしている	73.1
31	家の人に褒められることがある	85.3
32	家の人と一緒に、遊んだり、勉強したり、家の仕事をしたりすることがある	76.6
33	テレビや新聞等でニュースを見ている	64.4
34	家の中にホッとできる場所がある	87.1



今後も、授業や活動等を通して、子どもたちが自ら考え判断し、自分の言葉で表現し行動することができるよう機会を作っていきたいと考えております。その一助として、一人一台のiPad等のICT機器を有効に活用してまいります。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

「令和4年度すくすくウォッチ」で検索していただくと、問題と解答をご覧いただけます。